



車いす
の人と
出会った場合



目の
不自由な人と
出会った場合



耳の
不自由な人と
出会った場合



障害のある人との ふれあいと人権

—今まで声をかけられなかったあなたへ—

企画意図

バリアフリー社会を目指して、障害者にとっての4つのバリア（環境・制度・情報・意識）をなくすべく、たくさんの改善が行われました。しかし、最も立ち遅れているのは意識のバリアではないでしょうか？ 街で困っている障害者を見かけても、声をかけない、関わらない。そこにあるのは、無関心と同時にどう関わってよいかわからないという知識のなさが原因ともいえます。この作品は障害者自身の言葉で、どう関わってほしいかを伝えます。また障害別のサポートの仕方も紹介。「本当のバリアフリーは、心のバリアフリーから始まる」をテーマに、障害者が社会参加するために、自分たちに何が出来るか考えるきっかけになることを目指して企画しました。

上映時間 23分

VHS 69,300円(本体66,000円) [C#3111]
※字幕版あり [C#3112]

DVD 69,300円(本体66,000円) [C#3113]
(字幕版付き)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

障害のある人とのふれあいと人権

—今まで声をかけられなかったあなたへ—

内 容

安心して暮らせる社会を築いていくためには、健常者と障害者が助け合うことが重要です。街で障害者に出会ったとき、どのように行動したら良いのか、実際の場面を見ながら考えていきます。

目の不自由な人と出会った場合

周囲の様子が分からない視覚障害者は、不安を抱えています。例えば横断歩道では、前方から「何かお手伝いすることありますか？」など一声かけましょう。その他、駅のホームやエスカレーターだけでなく、トイレでも便器の向きや洋式か和式かなどを教えることも助け合いのひとつです。

また、点字ブロックは視覚障害者にとって歩くための重要な手掛かり。点字ブロックの上に自転車、バイクなどを駐輪したり、看板などを置かないように。道路などで、前方に障害物がある場合、わかりやすく知らせることが大切です。



耳の不自由な人と出会った場合

見た目は健常者と変わらないために、誤解されることの多い聴覚障害者。「あの人は聞こえないんだな、と気づいてくれれば嬉しいです」と聴覚障害者のひとり話します。

駅などで尋ねられたら積極的に教えます。言葉は一音一音区切らず、まとまりで区切って、身振り手振りで話しかけます。

聴覚障害者といっても、ろう者、難聴者では聞こえ方が違います。補聴器を付けた難聴者と話すときは、正面からゆっくりはっきり、身振りをつけながら普通の声で話します。どうしても伝わらないときは、短く要点を書いて伝える筆談も有効です。



車いすの人と出会った場合

車いすを利用している人が街に出ると、段差、階段、自動ドアなど様々な困難に遭遇します。困っているのを見かけたら、迷わず手を貸しましょう。

また、車いすの人は、自転車、歩きたばこをしている人、沢山の荷物を抱えている人が近くを通過するだけで恐怖を感じます。車いすの横を通るときは、十分な注意が必要です。

もし、震災などの災害が起きたとき、障害者もいることを忘れずに。迷わずに声をかけて助け合います。お互いが違いを認め合い、助け合う社会を気づくために、障害者のことをもっと理解していくことが大切です。



企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2008年作品

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101